

海外経済

		10月	11月
世界経済		<p>世界の景気は、弱い回復が続いているものの、底堅さもみられる。 先行きについては、当面、弱い回復が続くものの、次第に底堅さを増すことが期待される。ただし、アメリカの政策動向による影響、中国やその他新興国経済の先行き、欧州政府債務問題等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は緩やかな回復傾向となっている。 先行きについては、緩やかな回復傾向で推移すると見込まれる。ただし、金融政策の動向や財政問題への対応による影響等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
アジア地域	中国	<p>中国では、景気の拡大テンポは安定化しつつある。 先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと見込まれる。また、輸出や金融市場をめぐる動向等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
	韓国、台湾	<p>韓国、台湾では、景気はこのところ持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、次第に持ち直していくことが期待される。また、輸出の動向に留意する必要がある。</p>	<p>韓国では、景気は持ち直しの動きがみられる。台湾では、景気はこのところ持ち直しの動きが緩やかになっている。 先行きについては、次第に持ち直していくことが期待される。また、輸出の動向に留意する必要がある。</p>
	インド	<p>インドでは、景気は減速している。 先行きについては、当面、低い成長となることが見込まれる。また、物価の動向を含め、通貨安の影響等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
ヨーロッパ地域		<p>ヨーロッパ地域では、景気は下げ止まっている。ドイツ及び英国では、持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、次第に持ち直しに向かうことが期待される。ただし、政府債務問題等による金融面への影響を通じ、景気が下振れするリスクがある。また、各国の財政緊縮による影響や、失業率が高水準であること等に留意する必要がある。</p>	<p>ヨーロッパ地域では、景気は依然弱さが残るものの、持ち直しの兆しがみられる。ドイツ及び英国では、持ち直している。 先行きについては、次第に持ち直しに向かうことが期待される。ただし、政府債務問題等による金融面への影響を通じ、景気が下振れするリスクがある。また、各国の財政緊縮による影響や、失業率が高水準であること等に留意する必要がある。</p>